

名誉会員 北川敏男先生を追悼する

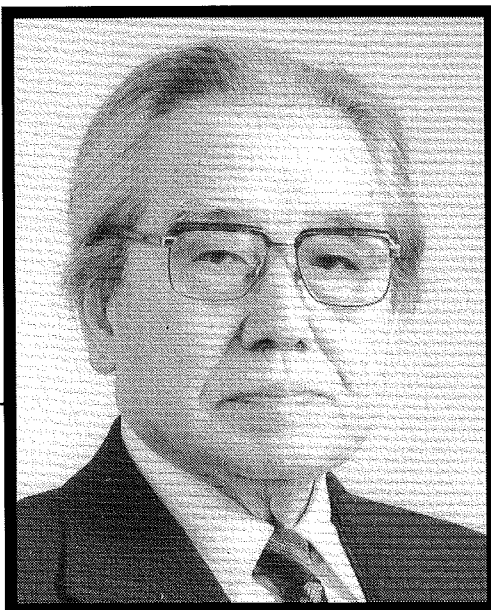
有川 節夫†

本学会元会長北川敏男先生には、平成5年3月13日にご逝去されました。享年83歳でした。謹んで哀悼の意をささげます。

北川先生は、昭和34年4月に本学会評議員として設立に参加され、昭和42年5月に理事に選任され、さらに昭和50年5月より2年間第8代会長として本学会の発展に寄与され、昭和53年5月名誉会員に推薦されました。

先生は明治42年北海道のお生まれで、昭和9年東京大学理学部数学科ご卒業後、大阪大学講師等を経て、九州大学理学部数学科助教授に着任され、昭和18年教授に昇進され、統計数学講座、計画数学講座をご担当になりました。

常に、卓越した識見でもって研究教育に精励され、多くの先駆的な研究成果をあげられ、また多くの優れた門下生を育成してこられました。先生は、関数方程式論から確率論、統計数学に進まれ、推測統計学を開拓され、推測過程論及び管理過程論を展開され、わが国の標本調査や品質管理の向上に寄与されました。この功績によって昭和28年には品質管理に関するデミング賞を受賞され、昭和31年国際統計協会正会員に推挙されました。また、インドにおける経済開発計画に統計学者として尽力され、カルカッタ大学百年祭にあたり歴史学のトインビー博士や物理学のオッペンハイマー教授とともに、名誉博士の称号を受けておられます。



昭和30年代後半からは、情報科学の振興と発展に努力され、情報科学講座や情報社会科学講座の編集・執筆に当たられました。また、内外の多くの学術誌の編集長や編集委員、日本OR学会フェロー、米国数理統計学会フェロー、インド統計研究所やプリンストン大学等の客員教授として国際学術交流に貢献されました。

この間、九州大学の運営にも尽力され、評議員

や図書館長、理学部長、基礎情報学研究施設長等を歴任されました。また、昭和26年から6期18年にわたって日本学術会議会員に選出され、日本における科学研究計画や情報科学計画、全国共同利用大型計算機センター設置、大学図書館の近代化等に指導的な立場で貢献してこられました。

昭和48年九州大学を停年退官後、直ちに富士通(株)国際情報社会科学研究所所長に就任され、その発展に尽力され、国際的評価の非常に高い研究所に育てあげ

られました。先生のご逝去は、同研究所の20周年記念式典の約1カ月後のことでありました。

小生は、折にふれて先生を訪問し、情報科学の課題や方法論について議論しご教示いただくことを無上の喜びと励みとして参りました。情報科学が新しい展開を始めるこの時期に偉大な指導者を亡くしましたことは、我々後進にとって誠に痛恨の極みであります。心からご冥福をお祈り申し上げます。

† 九州大学理学部基礎情報学研究施設

御 略 歴

明治42年10月3日	北海道生れ
昭和9年3月	東京帝国大学理学部数学科卒業
9年4月	大阪帝国大学理学部副手
9年9月	大阪帝国大学理学部助手
13年1月	大阪帝国大学工学部講師
14年4月	九州帝国大学理学部数学科助教授
18年12月	九州帝国大学理学部数学科教授
23年4月	文部省統計数理研究所長事務取扱
30年4月～42年12月	九州大学評議員
36年2月～42年12月	九州大学附属図書館長
42年12月～48年3月	九州大学理学部附属基礎情報学研究施設長
43年7月～44年8月	九州大学理学部長
48年4月	九州大学停年退官
48年4月	九州大学名誉教授
48年4月～平成元年6月	富士通株式会社常任顧問
48年4月～58年3月	富士通株式会社国際情報社会科学研究所長
58年4月～平成元年3月	富士通株式会社国際情報社会科学研究所会長
平成5年3月13日	逝去（83歳）
昭和16年4月	統計科学研究会委員長
26年1月～44年1月	日本学術会議会員（2期～7期）
31年12月	国際統計協会正会員
32年1月	カルカッタ大学名誉理学博士
44年4月	日本 OR 学会フェロー
45年6月	米国数理統計学会フェロー
50年5月～52年5月	情報処理学会会長
53年5月	情報処理学会名誉会員
55年8月	日本統計学会名誉会員
受賞 昭和28年11月	デミング賞受賞
48年11月	紫綬褒章受賞
55年11月	勲二等旭日重光章受賞

